

1 事業概要

				課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	305	
				会計	一般会計			
事務事業名				恒川遺跡群保存活用事業	事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H13	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画		4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす				
	分野別計画			史跡恒川官衙遺跡保存活用計画				
				史跡恒川官衙遺跡整備基本計画				
法令・例規等			文化財保護法					
			長野県文化財保護条例					
			飯田市文化財保護条例・同施行規則					
事業目的		対象	国史跡指定地を含む恒川遺跡群					
		意図	恒川遺跡群の実態解明に向け、調査・研究を進めるとともに、史跡指定地の公有地化の促進及び整備基本計画に基づく整備を実施し、適切に保存活用します。					

2 事業内容

30年度取組	取組内容	経費の内容		事業費(千円)
	恒川官衙遺跡の史跡公園整備に向け、発掘調査・基本設計・用地取得に取り組みました。 事業地内での発掘調査を2箇所で行い、正倉院において同じ場所で建替えられた正倉建物を確認しました。 調査中は現場を毎日公開するほか、調査成果を情報紙（恒川News）にまとめ座光寺地区内での組合回覧や現地見学会の開催等を通じて情報発信しました。 恒川清水周辺の発掘調査の成果を報告書としてまとめ、基本設計を進めました。 事業用地については、地権者のご理解をいただき取得を進めました。	基本設計関連経費		683
		保存目的調査・緊急調査費	13,100	
		緊急発掘調査費	3,144	
		用地取得費	252,635	
		用地管理・整備費	1,024	
		その他の経費	0	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			実績	実績	実績		
	専門委員会の開催数	回	3	5	2		
	保存目的調査実施箇所	箇所	2	4	4		
	公有地化面積	m ²	5,216.16	7,099.51	5,792.14		
	見学会及び情報発信	回	4	28	24		

30年度決算(千円)	予算額	341,644	特定財源内訳及び補足事項				
	財源の状況	決算額	270,586	(国) 国宝重要文化財保存整備費補助金 (1/2) 7,048千円			
国庫支出金		201,504	(国) 史跡等購入費補助金 (4/5) 194,456千円				
県支出金		29	(県) 文化財保護事業補助金 (3/100)				
地方債		40,300	(地) 一般補助施設 (充当率90%) 38,900千円、(地) 地域活性化 (充当率90%) 1,400千円、(そ) ふるさと寄附金 2,500千円、(そ) 繰越金 5,367千円				
その他		7,867	29→30 繰越明許費 26,834千円 30→1 繰越明許費 69,937千円				
	一般財源	20,886					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	14	1	327,111	257,168	恒川遺跡群保存活用事業費(補助)
2	1	10	5	3	14	2	14,533	13,418	恒川遺跡群保存活用事業費(単独)
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	<ul style="list-style-type: none"> 発掘調査とその調査報告書に基づいて恒川清水(清水エリア)の整備を進めています。 発掘調査の成果に基づいて整備を進める必要がありますが、公園事業地の取得が進んできたため、効率的に調査を進めることが求められます。 恒川清水の整備にあたり、史跡の保護と景観復元の両立が求められます。
上記の課題解決のための有効策	<ul style="list-style-type: none"> 調査過程で手作業を機械化できる部分を検討し、発掘調査の効率化を進めます。 地域の意向を踏まえ、専門委員会で検討し文化庁や長野県教育委員会と設計協議を進めます。
次年度に向けての取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 適切な調査体制や方法を検討して調査の効率化を進めていきます。 先行して整備する事業地について、基本設計及び実施設計を完了し、令和2年度に工事着工するための準備を進めます。 引き続き公園事業用地の取得を進めます。